

令和6年度 第2回学校運営協議会記録

1. 日時

令和6年10月21日（月）13:20～14:40

2. 場所

本校 校長室

3. 出席者

大阪教育大学教授 廣木義久

八尾市内学習塾代表 児玉隆

八尾市立成法中学校校長 小山健治

八尾市立八尾小学校校長 浅野貴至

本校PTA会長 大西景子

本校同窓会副会長 松村康隆

本校

山上浩一(校長) 中村泰造(教頭) 百軒由香子(事務長) 水野道尚・久世逸平(首席)

岡野佳保里(教務主任) 久米祥子(進路指導主事) 藤本一典(1学年主任)

村上典子(3学年主任)

4. 協議概要

次の項目について事務局から説明を行い、その後、委員による協議を実施しました。

- ① 令和7年度入学生（80期生）教育課程について（案）
- ② 80期生からの探求アドバンスについて
- ③ 令和7年度使用教科書採択について
- ④ 前期授業アンケート結果について
- ⑤ 府立高校の魅力化に向けたアンケートについて
- ⑥ 後期学校行事予定について

協議における委員の主な意見は以下のとおりです。

【アドバンス教育コース改編について】

アドバンス教育コースの改編につながる探求アドバンスの取り組みを積極的に推進するためには、期限を明確に設定することが重要である。また、探求アドバンスは生徒の自主性に任せた探究活動であり、学校の魅力向上につながるため、学校説明会などで広く周知してはどうか？

保護者から一定のニーズがある大阪教育大学の受験機会については、コース改編後も維持することを検討したほうがよいかもしれない。

新たな取り組みを積極的に進める姿勢そのものが、学校の魅力を高める。

【授業アンケート結果について】

授業満足度はかなり高い水準にあるため、広報を通じてアピールしてみてもどうか？

現在、中学生向けに部活動体験を実施しているが、同日に授業体験も実施してみてもどうか？

※働き方改革を考慮しつつ、次回の協議会で実施の可否を報告する予定です。

【学校説明会について】

硬式野球部や吹奏楽部、海外スタディーツアーに関する相談が多く寄せられた。来年度は、これらの経験があるお子さんを持つ PTA の方々を運営に加えたいと考えている。

女子のブラウスに対する評価があまり良くないことが指摘されている。

公立高校の強みである「部活動と勉強の両立ができる自由度」は生徒にとって大きなメリット。

【令和7年度当初人事について】

文武両道の実践を推進するため、教科の専門性が高く、部活動指導にも熱心に取り組める教員の配置を要望する。